

センター だより

第49号

多可町
西脇市

令和4年7月15日発行

公益社団法人

西脇・多可

シルバー人材センター

ホームページアドレス

<http://webc.sjc.ne.jp/nisitaka/>

本 部 〒677-0024
西脇事業所 西脇市嶋253-1
TEL 0795-23-5686
FAX 0795-23-1568
E-mail : nisitaka@sjc.ne.jp

多可事業所 〒679-1114
多可郡多可町中区岸上224-12
TEL 0795-32-2209
FAX 0795-32-4131
E-mail : nitasc@sjc.ne.jp

中区岸上

道の駅 山田錦発祥のまち・多可
アナベル（アメリカあじさい）の森



別名アメリカあじさい 花期は6月～7月 初夏に20～30cmほどの丸いボール状になります



センターだよりの案内

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ・理事長あいさつ、役員紹介 | 2 |
| ・令和4年度事業計画と予算 | 3 |
| ・安全・適正就業推進委員会からのお知らせ | 4 |
| ・令和3年度決算、インボイス制度について | 5 |
| ・健康情報「熱中症を防ぐために」、会員福利厚生委員会からのお知らせ | 6 |

理事長あいさつ



理事長 村上 明廣

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素はシルバー人材センターの事業運営に、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和4年度の定時総会につきましては、「まん延防止等重点措置」が解除されたことは言え依然として感染者数の収束が見えない状況であり、昨年同様に会員の皆様については、委任状による議決権の代理行使をもつて出席とさせていただき、役員と専門部会並びに各委員会の委員の皆様の出席で開催いたしました。会員の皆様にはコロナ禍での事情をご理解いただき、出席者23名、委任状出席者398名、合計421名として定足数を確保し、上程議案について承認いただき、滞りなく終了いたしました事、改めましてご報告させていただきお礼を申し上げます。

令和3年度を振り返りますと、会員数の減少と高齢化の中、更には新型コロナウイルス感染症の影響も少なからず影響し、会員数737人（前年753名）、平均年齢は73・6歳（前年73・2歳）で事業を進め、契約金額は454,049千円（前年対比92・6%）となりました。

一方、事業主に65歳までの雇用確保措置の義務化や70歳まで就業確保措置の努力義務が課せられる中、社会全体で就業率が伸びる方面、当センターにおいては、会員の減少と高齢化が進んでおります。「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、「高齢者の生き甲斐づくり・居場所づくり」を支援し、「人生100年時代の一役」を果たすべく事業を進めています。

新型コロナウイルス感染症も、四回目のワクチン接種と共に、感染防止対策を継続しながら収束を目指し、コロナ禍の中で実施できなかつた共益事業の会員研修旅行やグラウンドゴルフ大会等が今年度こそは実施できる事を願いつつ、従前のような平穡な笑い声の絶えない日々が来ることを祈念申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事
飛	竹	佐	藤	吉	上	川	斎	細	藤	井	野	細	川	飛	吉	藤	細	細	井
田	本	藤	原	原	原	尻	藤	尾	田	添	昭	川	喜	田	和	和	尾	美	上
和	博	彰	良	和	敏	澄	道	道	喜	悦	昭	博	美	雄	良	伸	子	伸	悦
平	文	浩	文	浩	規	規	晴	宏	雄	晴	子	史	博	雄	伸	伸	子	伸	雄

役員紹介



竹本博文	野添昭子	飛田和平	吉田和夫	藤田喜晴	細尾道宏	細川嘉美博
藤原良規	佐藤彰浩	笹倉規生	村上明廣	齊藤博史	上原敏伸	井上悦雄

令和4年度事業計画と予算

(3)

センターだより

去る5月27日、北はりま職業訓練センターにおいて定時総会を開催し、令和4年度の事業計画と予算を報告しました。

我が国の総人口は、令和2年にはおよそ1億2,600万人となつており、平成22年以降の10年間で、約200万人減少しています。65歳以上人口の比率は、23%から28・6%に上昇し、人口減少と少子高齢化が進行する中、労働力の供給が制約され、その確保が重要な課題となっています。

このようなか、総務省の労働力調査によると、65歳以上の就業者数は平成22年の570万人から、令和2年には905万人と大きく増加しています。

社会全体で高齢者の就業率が伸びる一方で、当センターの会員数は年々減少し高齢化が進んでいます。平成22年度末に1,000人を超えていた会員数は、令和4年2月末には753人となり、平均年齢は73・6歳となっています。高齢者の雇用環境の変化に加え、就業時間の是正などによる適正就業の推進等により、当センターの事業実績は減少しており、新型コロナ禍における社会・経済活動の抑制も、

【事業計画】

一、基本方針

安定した事業運営を図つていくため、入会説明会の開催等を通して新たな会員の確保・拡大に取り組みます。

◆ 入会説明会を年間20回から24回に増やして、周知機会の拡充を図ります。

◆ ホームページや市町広報紙、新聞への記事掲載、新規会員紹介制度やセンターだより等を通じた会員による勧誘を促進します。

◆ (2)就業機会の開拓・拡大 積極的なシルバー人材センター事業のPRにより、ニーズの掘り起こしと就業機会の開拓に取り組みます。

◆ ホームページや市町広報紙の活用を図るとともに、市町イベントでのPRブースの出展を計画します。

◆ 介護保険の要支援者への訪問型サービスや家事援助、ファミリー・サポート事業（子育て支援事業）など、女性が活躍できる事業に取り組みます。

◆ 兵庫県シルバー人材センター協会が実施する、労働者派遣事業及び有料職業紹介事業の実施事業所として事業を推進し、雇用による就業

事業運営に影響を及ぼしています。シルバー人材センターを取り巻く状況は厳しいものがありますが、今年度も地域高齢者の豊かで積極的な生活の実現と、社会参加による生きがいの充実に向け取り組んでいきます。

二、事業内容

(1)会員の確保・拡大

安定した事業運営を図つていくため、入会説明会の開催等を通して新たな会員の確保・拡大に取り組みます。

◆ 「安全は全てに優先する」を徹底し、会員の安全就業を推進します。
◆ 安全・適正就業ハンドブックの活用、センターだよりや安全・適正就業通信等の発行を通して、安全意識の向上に努めます。

◆ センターだより等により日頃の体制管理を促すとともに、夏場における熱中症対策や事故発生時における注意喚起を行います。
◆ 草刈等の屋外作業については、担当職員による日頃の点検に加え、安全・適正修業推進委員による現場への巡回指導を実施します。
◆ ペナルティ制度を運用し、安全就業の徹底を図ります。
◆ 会員に対して、刈払機やチェーンソーの講習会等の受講料を支援し、知識、技能の習得、向上につなげます。

(4)適正就業の推進

発注者と会員の理解を得ながら適正就業の推進を図ります。

◆ 会員の入会時や業務の受注時に、就業形態や就業時間の上限などのシルバー人材センター事業の制限について、十分説明を行います。
◆ 不適正な就業があつた場合には、発注者及び会員の理解を求めながら、是正に努めます。

業機会の拡大につなげます。

図るため、会員研修旅行やグラウンドゴルフ大会等を実施します。

(6)インボイス制度への対応

令和5年10月から導入される消費税に係る適格請求書等保存方式（インボイス制度）に備え、兵庫県シルバー人材センター協会などとの連携を図りながら、料金体系のあり方等、対応方法の検討を進めます。

(5)共益事業（会員福利厚生事業）の実施

会員の拡大と会員相互の交流等を

【予算】

単位：千円

経常収益	予算額	経常費用	予算額
受託事業収益	364,685	事業費（公益事業・共益事業）	404,441
労働者派遣事業等受託収益	6,870	管理費（法人会計）	8,795
介護予防日常生活支援総合事業収益	1,275	経常費用計	413,236
受取会費	2,490	当期経常増減額	△ 5,827
受取補助金	31,186	一般正味財産期首残高	260,837
その他（受取負担金・雑収益ほか）	903	一般正味財産期末残高	255,010
経常収益計	407,409		

当センターの令和3年度の会員の傷病事故は2件で、就業中の転倒及び運転中の信号停止時に追突されたものでした。1件は、長期入院（96日間）となるものでしたが、件数自体は前年度の5件から減少しました。平成29年度（23件）以降、事故件数は継続して減少してきており、会員の皆さんの安全に対する意識の高まりによるところが大きいと考えていますが、今年度に入つてからは、5月までに既に昨年度と同数の2件の傷病事故が発生しています。

傷病事故の多くは、作業中や就業場所でのほんの少しの油断から起こっています。「いつもの作業だから」、「いつもの場所だから」といった「慣れ」が油断を生み、時には重大な事故につながることになります。就業途上も含め、常に注意を払い、事故防止に努めましょう。また、この時期、熱中症等への暑さ対策にも努める必要があります。特に、屋外での作業では十分な水分補給とともに、異変を感じた場合は、無理せず、センターの担当職員に連絡して作業工程を調整するなど柔軟な対応を心掛けてください。

一方、会員が就業中に第三者に損害を与えた賠償事故は、前年度と同じ10件でした。令和元年度（21件）からは半減していますが、これまでと同様に、刈払機

安全・適正就業推進委員会からのお知らせ

による飛び石が原因となる事故や、車の運転に関わるものが目立ちます。特に飛び石による事故については、既に今年度も2件発生しています。周囲の状況をしっかり確認し、最悪の事態を考えていれば防げていた事故もあったと考えています。

傷病事故や賠償事故が起これば、その処理に多くの時間を要し、就業に支障が出るとともに発注者にも多大な迷惑をおかけすることになります。作業場所の安全確認、作業手順の確認、安全対策等を毎回怠らず、常に細心の注意を払って安全就業を心がけましょう。

今年度も、センターでは、7月を「安全・適正就業強化月間」と位置付け、巡回指導を実施するとともに、ペナルティ制度の運用などにより、会員の安全意識の向上とさらなる事故防止に努めています。

また、会員の就業が「臨時的かつ短期的（おおむね月10日程度以内）又はその他の軽易な業務（おおむね週20時間をこえない）」と定められている中、就業内容等の点検を行い、発注者と会員の理解を得ながらワークシエアリングの実施を図るなど、引き続き適正就業ガイドラインの遵守に努めています。

『安全は すべてに優先する』



令和3年度の西脇・多可シルバー人材センター事故発生状況

(1) 会員の負傷事故

作業種別	事業所		性別		年齢			通院	入院			死亡	計
	西脇	多可	男性	女性	60代	70代	80代		10日以内	11~29日	30日以上		
清掃	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
パトロール	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
合計	1	1	1	1	0	2	0	1	0	0	1	0	2

(2) 会員就業中の損害賠償事故

作業種別	事業所		賠償内容別				件数計
	西脇	多可	車両	家屋等	樹木等	人身	
草刈	1	3	3	1	0	0	4
剪定	0	1	0	1	0	0	1
運転	2	1	1	2	0	0	3
屋内作業	0	2	1	1	0	0	2
合計	3	7	5	5	0	0	10



令和3年度決算から

当センターにおける契約金額は、地域経済の影響や適正就業の推進、会員数の減少等により平成28年度から減少傾向が続いています。さらに、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大による就業機会縮小の影響も加わり、受託事業収益は前年度と比較して14.4%の減となりました。

一方、派遣事業受託収益については、前年度比で45.9%の増加となっています。

また、会員数については737人で、男性・女性会員ともに前年度から減少しています。

【会員の状況】

区分	令和3年度末	令和2年度末
男	483人	490人
女	254人	263人
計	737人	753人
平均年齢	73.6歳	73.2歳

【令和3年度決算】

単位：千円

収益	受託事業収益	377,043
	派遣事業受託収益	6,155
	生活支援総合事業収益	1,244
	受取会費	2,283
	受取補助金	31,186
	その他	92
経常外収益	固定資産受贈益	0

【費用】

単位：千円

経常費用	事業費	411,813
	管理費	8,602
	経常外費用	固定資産除却損

【収益－費用】

単位：千円

経常収益 + 経常外収益	418,003
	420,415
	△ 2,412
経常費用 + 経常外費用	420,415
当期一般正味財産増減額	△ 2,412

会員の配分金に含まれる消費税の扱いについて

センターが会員にお支払いする配分金には、発注者から預かった消費税（10%）が含まれています。この消費税は、本来、国（税務署）に納めるものですが、年間の課税売上高が1,000万円以下の方は「免税事業者」として扱われ、消費税の申告・納付が免除されています。

一方、センターも発注者から預かった消費税をそのまま会員に支払っているので、配分金に係る消費税を納める必要がありません。（会員に支払った消費税が仕入として控除（仕入税額控除）されています。）

【配分金が11,000円の場合】



しかし、令和5年10月に導入が予定されている消費税に関する「インボイス制度」（適格請求書等保存方式）では、「免税事業者」である会員との取引については、仕入税額控除が適用できなくなり、その分をセンターが新たに負担する必要が出てきます。なお、「免税事業者」である会員は、引き続き消費税の申告・納付は免除されます。

「インボイス制度」が導入された後も、会員への配分金には影響のないよう対応していく予定ですが、センターにとっては、新たな経費の捻出をどうするかが大きな問題となっています。

新制度への対応は、全国のシルバー人材センター共通の大きな問題として、現在、上部団体も含めて検討を進めています。まだ不透明な部分もあり、内容や運用等に変更があれば、隨時お知らせしていきます。

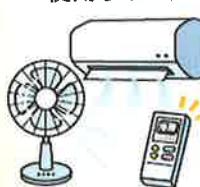
熱中症を防ぐために 屋外ではマスクをはずしましょう



- 特に運動時には、忘れずにマスクを外しましょう。
- 人との距離（2m以上を目安）が確保できて、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。
- マスクを使用する場合も屋内で熱中症のリスクが高い場合には、エアコンや扇風機、換気により、温度や湿度を調整して暑さを避け、こまめに水分補給をしましょう。

✓ 予防法ができているかをチェックしましょう

エアコン・
扇風機を上手に
使用している



部屋の温湿度
を測っている



部屋の風通しを
良くしている



必要に応じて
マスクを
はずしている



こまめに
水分補給を
している



シャワーや
タオルで体を
冷やす



暑い時は
無理をしない



涼しい服装をして
いる
外出時には日傘、帽子



涼しい場所・
施設を利用する



緊急時・困った
時の連絡先を
確認している



1日あたり
1.2L(リットル)を
目安に



コップ約6杯
(ペットボトル500mL×2.5本分)

- 1時間ごとに
コップ1杯
- 入浴前後や起床後もまず水分補給を
- 大量に汗をかいた時は
塩分も忘れずに

※水分や塩分の摂取量は
かかりつけ医の指示に従いましょう。



のどがかわいてなくとも
水分補給を!

会員福祉厚生委員会からのお知らせ

グラウンドゴルフ大会の開催について

いよいよグラウンドゴルフ大会を秋に開催いたします。

詳細及び申し込みは、8月中旬に予定しておりますのでしばらく
お待ちください。多数のご参加をお待ちしております。

日程：10月1日（土） 場所：日時計の丘公園（黒田庄町）

会員親睦日帰り旅行について

感染予防、感染対策を万全にした旅行を計画しています。

バスの中はもちろん昼食時にも飲酒はできませんので、
ご了承ください。詳細は決定次第お知らせいたします。

日程：11月5日（土） 行先：未定

※感染状況により中止になる場合もございます

お待たせ
しました！



新任職員ご挨拶

四月より、西脇事業
所でお世話になってお
ります宮崎英一郎です。
まだまだ知識不足で、
ご迷惑をお掛けすると思いますが、会
員の皆様のご期待にお応え出来るよう
に、皆様のお力を借りしながら精一
杯頑張りますので、よろしくお願ひ致
します。

